



| Shujitsu University | Faculty of Human Studies | Department of Practical English | Shujitsu University | Faculty of Human Studies | Department of Practical English

# ブレない本気の「英語漬け」

## 実践**英語**学科

| Shujitsu University | Faculty of Human Studies | Department of Practical English | Shujitsu University | Faculty of Human Studies | Department of Practical English



## 真の英語漬けは実践**英語**学科だけ

実践英語学科の最大の特長は「**英語漬け (Total Immersion)**」です。**初年次から外国人教員による少人数授業を毎日実施**し、英語力を徹底的に鍛え上げます。その英語力を基盤として、3年次以降は英語にまつわるさまざまな領域（文学、文化、通訳、翻訳、コミュニケーション、言語、教育など）について専門的研究に取り組みます。また、学科独自のイベントでは英語を実践的に活用する機会が数多く設けられています。

「英語だけ学んでも…」と思う人もいるかもしれませんが、しかし、本学科で培われるのは英語力だけではありません。英語漬けの環境で英語と本気で向き合うことで、**優れたコミュニケーション能力や専門的な分析能力**が身に付きます。本学科で培われるこれらの能力に対する社会からの高い評価は、数々の優れた就職実績に裏付けられています。つまり、本学科で得られるのは「**英語力+α**」です。

一般に「充実した英語教育」を謳うところは無数に存在します。しかし、本学科の英語漬けの環境は他とは比べものにならない、群を抜いたものとなっています——実践英語学科の「**英語漬け**」は本物です。

### 外国人教員による少人数授業

本学科は専任の1/3が外国人教員です。**外国人教員による授業は少人数(15名前後)クラス**で行われ、英語の4技能 (reading, writing, listening, speaking) を徹底的に鍛え上げます。また、外国人教員は重要なコア科目やゼミナールも担当します。密度の濃い英語教育は実践英語学科だけのメリットです。



### 欧米諸国中心の海外語学研修

本学科の専門科目の多くは英語関連科目ですので、語学研修で修得した単位と幅広い互換性 (最大48単位) を持っています。そのため、**最長で約1年間語学研修に行ったとしても4年間で卒業可能です**。これは就実大学の中でも実践英語学科だけの強みです。海外経験を積むのなら、実践英語学科一択です。



### 分野に縛られない幅広い就職実績

ビジネスの第一線で活躍したい? 英語の先生になりたい? 本学科の卒業生は有名企業、公務員、英語教員に至るまで、さまざまな分野で活躍しています。本学科での学びは**特定の分野に縛られることがない**ため、自らの将来の可能性を幅広く切り拓くことができます。いわゆる「**全部入り**」は実践英語学科の強みです。



# 英語漬けの専門教育カリキュラム

本学科のカリキュラムは「英語漬け」そのものです。外国人教員担当でも日本人教員担当でも、専門教育科目では英語にまつわるさまざまな事柄を扱います。概略的に言うと、1年次と2年次で英語の基礎となる内容を徹底的に鍛え上げ、3年次と4年次で鍛え上げた英語力を活用して、「人文学(=人間の正体)」についての専門的な研究を行います。とくに本学科の1年次と2年次では外国人教員による英語の必修科目が数多く設定されており、それらの科目を必死になって乗り切ることで、実用レベルの実践的な英語力を身に付けます。専門教育カリキュラムの概要は以下の通りです。

黒=日本人教員担当 橙=外国人教員担当 青=日本人教員または外国人教員担当

## 必修科目

English Reading I (習熟度別)  
English Reading II (習熟度別)  
Oral Communication I  
Oral Communication II  
英文法 I (習熟度別)  
英文法 II (習熟度別)  
インターネット英語 I  
インターネット英語 II  
英語の発音

基礎ゼミナール I  
基礎ゼミナール II  
ライティング演習 I  
ライティング演習 II  
英語表現演習 I (週 2 回)  
英語表現演習 II (週 2 回)  
イギリス文化研究入門  
アメリカ文化研究入門

## 選択科目

英語教育入門  
英語学研究入門  
翻訳演習入門  
通訳演習入門  
言語文化講読 1  
言語文化講読 2  
言語文化講読 3  
言語文化講読 4

## 1 年次

毎日実施される外国人教員の授業を中心に、英語の基礎を徹底的に粘り強く叩き込みます。



## 必修科目

English Reading III (習熟度別)  
English Reading IV (習熟度別)  
Oral Communication III  
Oral Communication IV  
Extensive Reading I  
Extensive Reading II  
ライティング演習 III  
ライティング演習 IV

英語表現演習 III (週 2 回)  
英語表現演習 IV (週 2 回)  
検定英語 I (TOEIC) (習熟度別)  
検定英語 II (TOEIC) (習熟度別)


## 選択科目

児童英語  
児童英語教育法  
英語学研究 1 (概論)  
英語学研究 2 (演習)

## 2 年次

外国人教員の授業を中心に、1年次で鍛え上げた英語力を実用レベルにまで引き上げます。



 本学科では2年次の12月初旬にゼミナールの志望調査を行い、成績(GPA)に基づいて、志望するゼミナールへの配属が決定されます。

## 全コース必修科目

英語ゼミナール I  
英語ゼミナール II  
英文講読 I  
英文講読 II

## 全コース選択科目

検定英語 III (TOEIC)  
検定英語 IV (TOEIC)

## コース別必修科目 (英語学ゼミ・英語教育ゼミは3コースから1つ選択)

### 英語コミュニケーションコース

英語コミュニケーション 1  
英語コミュニケーション 2  
英語コミュニケーション 5  
英語コミュニケーション 6  
英語コミュニケーション 7  
英語コミュニケーション 8

### 英米文化コース

異文化理解と交流 1  
異文化理解と交流 2  
イギリス文化研究 1  
イギリス文化研究 2  
イギリス文化研究 3  
アメリカ文化研究 1  
アメリカ文化研究 2  
アメリカ文化研究 3

### 通訳翻訳コース

通訳演習 1  
通訳演習 2  
通訳演習 3 (ビジネス実務)  
通訳演習 4 (ビジネス実務)  
翻訳演習 1  
翻訳演習 2  
翻訳演習 3 (ビジネス実務)  
翻訳演習 4 (ビジネス実務)

## 3 年次

選択したコースに分岐して、専門領域に応じた英語力を引き上げ、卒業研究に着手します。



## 全コース必修科目

卒業研究  
英語ゼミナール III  
英語ゼミナール IV  
英文講読 III  
英文講読 IV

## 英語コミュニケーションコース

英語コミュニケーション 3  
英語コミュニケーション 4

## 4 年次

各専門領域の研究をより一層深め、論文執筆指導を行い、卒業論文の完成を目指します。

学科所定の単位を修め、卒業論文の審査に合格することで、学長から「**学士(人文学)**」の学位が授与され、卒業となります。







## 新入生研修旅行

4月中旬(初年度生対象)

本学科の初年次生は入学して間もなく、大型船と小型ボートを乗り継ぎ、香川県小豆島のさらに向こう側にある無人島「余島」

へ英語キャンプに向かいます。学生約10名につき外国人教員1名が付き添い、スポーツ、バーベキュー、キャンプファイヤ、ミーティングなど、英語を使ったさまざまなアクティビティに取り組みます。このキャンプを通して、学生も教員もみんな打ち解け合い、円滑なコミュニケーションが可能になります。1泊2日の英語漬けは非常に密度の濃いものですが、物怖じせずに英語を使うことができますようになります。



## ANZAC

7月下旬(全学年対象)

試験やレポートに追われる学生を元気づけるべく、7月末あたりにバーベキューパーティーが開催されます。「ANZAC」とは

Australia New Zealand Annual Cook-outの頭文字を取った名称であり、その名から想像されるように、ふだん口にすることがない珍しい「カンガルー肉」を食べることができます。このパーティーにはたくさんの外国人教員も参加しますので、バーベキューを楽しみながら英会話も楽しむことができます。また、上級生と下級生の交流の場ともなっていますので、試験やレポートについて相談し合う場面を目にすることもできます。



## 英語劇

5月中旬(全学年+学外希望者対象)

ITCL (International Theatre Company London) から英語圏の本場の役者さんをお招きして、学内で英語の舞台を鑑賞し

ます。毎年、学内外から多くの来場者があり、会場が満員となります。舞台の端に日本語の字幕も表示されるようになっていますので、初めての人でも安心して観劇できます。また、本学科の学生に限り、観劇後に舞台の役者を交えたパーティーに参加できます。つい先ほどまで舞台上で熱演していた役者さんたちと英語でお話することができますという非常に貴重な機会が設けられており、賑やかなパーティーになります。



## American Holiday

11月下旬(全学年対象)

英語圏では年末にさまざまなパーティーがあります。それをまとめてやってみよう！というのが American Holiday です。

感謝祭、ハロウィーン、クリスマスにちなんだ多種多様な料理が並び、室内の飾りつけもゴタ混ぜで賑やかな雰囲気になります。一番の目玉は「ターキーの丸焼き」で、外国人教員と学生が協力して時間をかけて調理します。このパーティーには毎年たくさんの学生・教員・職員が参加して大いに盛り上がります。会場がやや窮屈ですが、それがまた賑やかな雰囲気を盛り立ててくれます。年末まで賑やかなのが実践英語学科です。

# 実践英語学科の主要年間行事

## 英語合宿 STIP

9月下旬・3月下旬(全学年対象)

STIP (Shujitsu Total Immersion Program) は実践英語学科限定の英語合宿です。学生自らが日本語厳禁・英語漬けの1泊2日を企画・運営し、英語だけを使ってさまざまなアクティビティに取り組みます。この合宿は9月と3月の計2回実施されます。9月はこの合宿のメインであり、上級生が下級生をリードします。3月は9月に参加した下級生のリーダー研修であり、その下級生が次の9月の合宿でリーダーとなります。活動場所は、ある時は東北の山奥、ある時は市内というように、学生が企画する内容に応じて変わります。参加するたびに毎回異なる合宿になるという面白さもあります。この合宿のポイントは当日のアクティビティだけではなく、そこに至るまでの過程にもあります。企画・運営に長い

時間をかけ、上級生と下級生がさまざまなアイデアを出し合い、時には必要な物品の買い出しまで行います。その過程で自分の意見を積極的に打ち出す力や他者とのコミュニケーション能力・連携能力なども徐々に育まれます。このような学生の、学生による、学生のための英語合宿を経験することができるのは、本学の中でも実践英語学科だけです。日本語厳禁・英語漬けの環境を、他者から課せられるのではなく、自分たちの力だけで創り出す楽しみを、ぜひ経験してみてください。





# 少人数かつ実践的な環境——在學生 Now#1



## 中原 千夏

人文科学部 実践英語学科 (岡山県立倉敷南高校出身)

### Q. なぜ実践英語学科を選んだのですか？

A. 実践的な英語を学ぶことができるからです。航空業界に就職することが私の目標で、そこでは高い英語運用能力が求められますから、とくにコミュニケーション能力を磨くことをもっとも意識しています。

### Q. 外国人教員の授業はどんな感じですか？

A. 授業は日本語禁止ですので、否応なしに英語力が身につきます。大変なことも多いのですが、先生も学生も

お互いに距離が近く、何でも質問しやすい雰囲気があります。先生方は同じ英語圏ながら多国籍ですので、ひと口に「英語」と言っても、英語だけではなく、さまざまな社会や文化を学ぶことができます。

### Q. 実践英語学科で楽しい／大変なことは？

A. ふだんの授業や学科のイベントで英語を話す機会が多く、先生と学生の距離も近いので、勉強とは別にプライベートについて話し合うことも。そうした楽しさの一方で、たとえば英語のプレゼンの準備…段取りとかことば遣いとか、準備不足が命取りになりますので、いつも大変です(笑) 進級しても、ずーっと勉強のことでドタバタしていますね。留学も経験しましたが、最初は楽しいというより大変…でした。学科にいるときと同じように、すぐに慣れましたけど(笑)

### Q. 実践英語学科ならではのポイントをひとつ。

A. 少人数で英語を話す機会が多く、学年を越えた交流もありますので、アットホームな雰囲気だと思います。お互いの距離が近くなって、いいですね！



目標に向かって、ひとつひとつハードルを越えて、英語を学び続けています。「大変」と「楽しい」は表裏一体だと思います！

# 勉強の充実感は一・倍！——在學生 Now#2

### Q. なぜ実践英語学科を選んだのですか？

A. 実はそこまで「英語っ！」という気持ちがあったわけではなくて…留学してみたいなあとか、将来のためにもなるかなあとか。英語は好きですし、英語を使うような仕事に就きたいという気持ちはありましたが、ちょっとぼんやりしていました(笑)

### Q. 外国人教員の授業はどんな感じですか？

A. 必修科目の「英語表現演習」がとても実践的で、英語が身についているという実感を得ています。ただ、この授業は週2回あって、しかも課題も多くて…プレゼンの準備も英語で行わなければなりませんから、率直に言って大変です。1にも2にも勉強、勉強です。



英語の授業が終わったらまた英語の授業…なんてのは日常茶飯事です。重たいテキストや辞書を抱えながら準備に追われる毎日です。

### Q. 実践英語学科で楽しい／大変なことは？

A. 授業は大変ですが、先生方も仲間もみんなお互いに距離が近いので楽しいです。また、実践英語学科は行事も多いので、学科主催のBBQやPartyは、お祭り好きの私にはとくに嬉しいです(笑) 大変なことと



## 露無 詩乃

人文科学部 実践英語学科 (岡山県立岡山一宮高校出身)

言えば、アルバイトとの両立でしょうか…課題が多いので毎日大変ですが、充実感は一・倍です。

### Q. 実践英語学科ならではのポイントをひとつ。

A. 高校と比較して、外国人の先生方が多いところですよ。外国人の先生方の授業は少人数で行われますから、英語を使う頻度が高く、密度の濃い英語を学ぶことができます。授業以外でも外国人の先生方とお話する機会に恵まれているところもポイントです。

# 海外語学研修で得られるメリットは大きい

## Q. 海外語学研修を志したきっかけは？

**山本.** 大学に入る前から海外に憧れていた、というのがありますが、やはり英語力をさらに高めたいという気持ちがあったからです。

**三宅.** 日本語がまったく通じない環境に自分を追い込みたいというのがありますね。そういう環境であれば、甘えは一切許されなくなりますから。



**三宅 麻央** (左)

3年次に California State University, Chico へ語学研修

**山本 舞** (右)

3年次に Victoria University へ語学研修

## Q. 語学研修でとくに苦労したことは？

**三宅.** 価値観の違いを受け入れなければならなかったことです。ホストファミリーとの暮らしの中で色々あって…わかり合えないこともあって、とても大変だったのですが、それも自分の成長の糧になったのかな、と今では思います(笑)

**山本.** 相手の英語が聞き取れなかったり、自分の言いたいことがうまく伝わらなかったり。最初はホストファミリーとの会話を楽しめないこともありました。それ以外

にも、たとえば体調を崩してしまったときに、相手にどのように伝えて、どのような対処をすべきなのか、困ったこともありました。

## Q. 語学研修で得られるメリットは？

**山本.** 英語力の向上は当然ですが、むしろメンタルが鍛えられたと思います。研修に行く前は、あれこれと先のことを悩んでしまうことが多かったのですが、今では「何とかなる！」という考え方ができるようになったというか。それと、広い視野を持って楽観的に物事を見ることができるようになりました。つまり、いい意味で自分を大きく変えてくれるところがメリットでしょうか。

**三宅.** 英語力の向上は確かに実感できます。ただ、山本さんが言っているように、それ以外の部分で得られるものが大きいです。海外では何でも自分で解決しなければなりませんから、ひとりの人間として強くなれます。また、帰国してからも、海外で作った人脈は生きてまますので、さまざまなチャンネルを通じてやり取りが続きます。それも大きなメリットだと思います。

## Q. 語学研修を志す人にアドバイスしたいことは？

**三宅.** 海外でトラブルに直面する機会は想像以上に多いです。でも、その時こそが成長のチャンスです。最後まで諦めずに「何とかしよう！」という姿勢で乗り切ることで、成長を実感できるはずですよ。あと、語学研修の前には、たとえば TED TALK などで英語に耳を慣らしておくといいですよ。

**山本.** 今になって当時を振り返ると、思い切って海外に出てよかった！と心から思います。もちろん、英語力を向上させるためには勉強も必要です。でも、周囲にはさまざまな人々がたくさんいます。そうした人々と、とにかく積極的に英語で話すことを大切にすれば、得られるものはより大きくなると思います。

## 分野に縛られない幅広い就職実績



### 実践英語学科出身学生のおもな就職内定先(平成24年度～)

全日本空輸、岡山空港、高松空港、岡山放送、テレビせとうち、両備HD、林原、カイトック、廣榮堂、JFE 条鋼、H.I.S.、近畿日本ツーリスト、JR 西日本、中国銀行、トマト銀行、日本生命、第一実業、萩原工業、フジワラテクノアート、住友林業HS、ホテルニューアワジ、ホテルグランヴィア岡山、ベルジャヤ京都ディベロップメント、岡山県公立中学校英語教員、岡山県警察、福山市役所、陸上自衛隊、海上自衛隊ほか。

実践英語学科の卒業生は、本学科で培った英語力だけではなく、コミュニケーション能力や連携能力なども発揮して、さまざまな分野で活躍しています。大学で学ぶことは必ずしも就職に直結するわけではありません。しかし、本学科の卒業生は「英語」というひとつの外国語について徹底的に、専門的に学ぶ中で「**自分のだけの強み**」を生み出し、夢を実現させています。ビジネスの第一線で活躍したい？英語教員として活躍したい？——実践英語学科なら「どちらか」ではなく「**どちらも**」選択できます。**自分の将来の可能性を幅広く切り拓くのであれば、実践英語学科です。**



# 何よりも、行動あるのみ！——就職 Case#1



## 門野 彩歌

(株)全日本空輸 内定／人文科学部 実践英語学科 卒業(予定)

### Q. 実践英語学科の4年間はどうか？

A. 実践英語学科は勉強がとても大変だと聞いていましたが、入学前にしっかりと準備してましたので、学業は予想していたよりもスムーズでした。4年次は卒業研究や就職活動で目が回る毎日でしたが、ゼミでよい仲間たちに恵まれ、充実感や達成感が得られました。

### Q. 4年間でもっとも注力したことは何ですか？

A. 強みを持つこと、です。航空会社の客室乗務員を目

指してましたので、英語の勉強は当然として、今、何をすべきなのかを自分でリサーチして、仕事に関係する資格を取得し、3年次から同じ志を持つ仲間たちと勉強に励みました。結局、ずっと勉強です(笑)

### Q. 実践英語学科での学びは就職にどのようにつながりましたか？

A. 先ほどお話したことに加えて、何事においてもすぐに実践できる環境があったことが、就職につながったと考えています。大学では英語をつねに使う環境に身を置いて切磋琢磨してましたし、アルバイトでは資格取得の過程で学んだことを活かすこともできました。そうした経験の積み重ねが今に至るのかな、と。

### Q. 実践英語学科を志す未来の後輩に一言！

A. 現状に甘んじて受け身にならず、自分でどうにかするという意識を持って行動してください。今この瞬間にもできることは、たくさんあります。情報を先取りして、とにかく行動に移すことが大切です。



振り返ってみれば、あつという間の4年間でした。とても大変でしたが、それと同じくらい楽しいこともたくさんありました。

# 発見は価値観を変えるもの——就職 Case#2

### Q. 実践英語学科の4年間はどうか？

A. 楽しくて、そして自分の価値観を大きく変えてくれる4年間でした。興味はあっても決して得意ではなかった英語に触れて、外国人の先生方と英語でやり取りをする中で、自分なりにさまざまな発見があり、ものの見方や捉え方も大きく変わり、自信ができました。

### Q. 4年間でもっとも注力したことは何ですか？

A. 勉強は当然のことですが…さまざまな人々と接する機会を積極的に持ったことでしょうか。たとえば、アルバイト先では外国人のお客さまに自分から積極的に対応してましたし、サークルでも色々な人々から話を聞くようにして、人脈を広げてきました。それが、今の自分の成長につながったのだと考えています。



入学当初はわからないことだらけで本当に大変でした。今になって振り返ると、よく乗り切れたなあと思います。

### Q. 実践英語学科での学びは就職にどのようにつながりましたか？

A. 対人対応力がポイントだと考えています。この学科にいて個人的に大きな成果だと感じたのは、馴染みのない価値観に触れることができたことです。就



## 井上 刻音

(株)JR西日本 内定／人文科学部 実践英語学科 卒業

職先では、近年のインバウンド傾向もあって、とくに外国人のお客さまへの対応が増えることははっきりとしていますので、多様な価値観に触れることで得られた対人対応力は、きっと強い武器になると信じています。

### Q. 実践英語学科を志す未来の後輩に一言！

A. 私は家政科の出身で、右も左もわからないままこの学科に入りましたが、そこからでも切り拓くことができるものもあるのだと感じました。次はあなたの番です！

# 実践英語学科 出前授業

本学科では語学（英語）関連領域の進路を検討している高校生向けに下記の出前授業を提供しています。出前授業をご希望の場合は、本学入試課までご相談ください。

## 実践英語学科提供の出前授業のメニュー

「ポピュラーソングで英語を学ぼう」（ジェニファー・スコット 教授 | ライティング）

英語の音楽を聞き、ゲーム感覚で英語の理解を深めます。

「だからマーク・トウェインは面白い」（和栗了 教授 | アメリカ文学）

アメリカ合衆国を代表する小説家マーク・トゥエインの作品と人物を楽しく紹介します。

「アメリカ文化と音楽」（ローレンス・ダンテ 教授 | 英語教育）

アメリカの代表的な音楽を紹介し、その背景を説明します。

「通訳の世界へようこそ」（武部好子 准教授 | 通訳・翻訳）

奥深い通訳の世界を、エピソードを交えながら楽しく体験してみましょう。

「多義語の問題」（小田希望 教授 | 語用論）

複数の意味を持つ語の意味同士の関係について考えます。

「英語の姿かたちを削り出す」（西谷工平 准教授 | 意味論）

英語を例に、私たちの心とことばのつながり・仕組みを探ります。

「映画とイギリス文学」（雨森未来 講師 | イギリス文学）

イギリス文学の映画と原作を比べて、その違いや特徴を捉えます。

出前授業の詳細はこちら

➡ <https://www.shujitsu.ac.jp/general/>



SHUJITSU.  
ENGLISH

Dept. of Practical English Official Instagram

MEMO

就実大学 入試課

703-8516 岡山県岡山市中区西川原 1-6-1

TEL: 086-271-8118 MAIL: [nyushi@shujitsu.ac.jp](mailto:nyushi@shujitsu.ac.jp)

ver. 20200707